

第 6 2 回東北地区高等専門学校体育大会 硬式野球競技 競技要項

1. 主 催 東北地区高等専門学校体育連盟
2. 競技開催校 八戸工業高等専門学校
3. 後 援 青森県高等学校野球連盟
4. 大会日程 令和 7 年 7 月 4 日（金）～ 7 月 6 日（日）
5. 競技日程 令和 7 年 7 月 5 日（土）～ 7 月 6 日（日）
※雨天順延の場合 7 日（月）・8 日（火）
6. 大会会場 長根野球場（メイン）（青森県八戸市大字売市字奥遊下 3）
東運動公園野球場（サブ）（青森県八戸市湊高台八丁目 1－1）（7/6 以外）
六戸総合運動公園野球場（サブ）（青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字下久保 174－1）（7/6 のみ）
7. 参加資格 出場選手（女子を含む）は、各県の高等学校野球連盟に加入登録していない者に限る。
8. 競技人員 部長 1 名、監督 1 名、マネージャー 1 名、選手 18 名以内、計 21 名以内
9. 競技規則 (1) 2025 年度公認野球規則による。また、アマチュア野球内規、高校野球特別規則、全日本女子野球内規に準ずる。
ただし、下記については、競技規則不適用事項とする。
[ア] 投手が同一イニングに投手以外の守備位置に 2 度以上つくこと。
[イ] 変則ダブルヘッダーの場合、投手が登板出来るイニングは両試合を通じて合計 9 イニング以内とすること。
10. 競技方法 (2) 使用球は公認球とする。
(1) 競技はトーナメント戦とし、3 位決定戦を行う。
(2) 日没、降雨、雷等が生じた場合の試合の続行は、競技委員、総務委員及審判員の協議により決定する。
(3) 前項により試合の続行が不可能となった場合は、
[ア] 7 回未満のときは、ノーゲームとし、再試合を行う。
[イ] コールドゲームは、7 回完了若しくは 6 回半終了とする。
(4) 7 回完了若しくは 6 回半終了までに点差が 7 点以上になった場合は、コールドゲームとする。ただし、決勝戦を除く。
(5) 雨天の場合は 2 日間順延とする。ただし、3 位決定戦を行わない。2 日間の順延後、なお競技が終了しない場合は、次のとおりとする。
[ア] 2 チームが勝ち残っている場合は、
①両チームを 1 位とする。
②全国高専体育大会の出場については、両チームの協議により決定する。
[イ] 3 チーム以上が勝ち残っている場合は、
①競技を中止する。
②全国高専体育大会の出場校は、協議により決定する。
(6) 9 回終了時に同点の場合、10 回からタイブレークを開始する。延長戦は 12 回までとし、それでも勝敗が決しない場合は、抽選により決定する。ただし、決勝戦は原則としてタイブレーク制度は適用せず 15 回までとし、なお勝敗が決定しない場合には、両チーム 1 位とする。全国高専体育大会の出場については、両チームの協議により決定する。
「タイブレーク規定」
① 打順は、9 回終了時の打順を引き継ぐものとする。（次回以降も前イニング終了時からの継続打順）
② 走者は、無死一、二塁の状態から行うものとする。この場合の 2 人の走者は、前項の先頭打者の前の打順のものが一塁走者、一塁走者の前の打順のものが二塁走者となる。

- ③ タイブレークを開始する各イニングの前に、審判委員と両チームは各塁上の走者に誤りがないか十分に確認する。その後、守備側の選手交代およびポジション変更、攻撃側の代打および代走は認められる。

11. 参加申込 (1) 申込期限 令和7年6月2日(月)【必着とする】
(2) 申込先 〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平 16-1
八戸工業高等専門学校 学生課内
東北地区高等専門学校体育大会
硬式野球競技実行委員会事務局
TEL：0178-27-7235 FAX：0178-27-9487
12. 組合せ抽選 各高専の代表者による抽選を行う。
13. 代表者会議 (1) 日時 令和7年7月4日(金) 15:30～
(2) 会場 長根野球場会議室(長根運動公園内)
14. 開閉会式 (1) 開会式 令和7年7月4日(金) 17:00～ 長根野球場
(2) 閉会式 競技終了後
15. その他 (1) 第2試合以降は、開始予定時刻を繰り上げて実施することがある。
(2) 試合に出場するチームは、試合開始予定時刻60分前に集合し、攻守決定とメンバー表の交換を主将によって行う。なお、主将の選手はメンバー表の背番号欄に○を記入し、テーピングやサポーターを使用する選手がチーム内にいる場合は同席し、審判と相手チームの確認を受けること。メンバー表は5通提出すること。
攻守の順序は、主将のジャンケンによって決める。
(3) ベンチサイドは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
(4) 試合前のシートノックは、各7分とする。シートノックにノッカー1名(選手と同じユニフォームとスパイクを着用し、ノック終了時は直ちにグラウンドから退場すること)、練習補助員3名(選手と同じ試合用ユニフォームで背番号がないもの、トレーニングシューズ、ヘルメットを着用)を加えても良い。
(5) 危険防止のため、打席に入るとき及び走者になったときは、必ず両耳付きのヘルメットを着用すること。
(6) 捕手が座って投球を受ける場合は、試合中、練習中を問わず必ずマスク、ヘルメットなどの捕手用具を着用すること。
(7) 手袋、リストバンド、サングラスの使用を認める。ただし、手袋については色彩の制限は設けず、リストバンド、レグガード、エルボーガードについて色は単色とする。
(8) スパイク表面の色彩は黒色または白色とすること。
(9) 試合中攻守交代は、特に迅速にすること。
(10) 攻撃及び守備のタイムは1試合にそれぞれ3回までとする。延長に入った場合、それ以前の回数に関係なく、1イニングにつき1回までとする。
(11) 監督と選手は審判員のジャッジに対して抗議することはできない。審判員に対するアペールができるのは規則適用上の疑問をただすとき認められるが、主将、伝令または当該選手に限られる。
(12) バット、ヘルメット、キャッチャーの防具の点検は、審判員が行う。バットは木製バット(コンポジットバットを含む)のみの使用とする。ただし、女子が使用するバットに関してはこの限りでない。
(13) 球場内のブルペンを使用する場合は、試合をしている該当チームの許可を得ること。
(14) DH制を適用する。
(15) 各球場の「利用の心得」を遵守すること。